

令和7年度 福井県立嶺南東特別支援学校 学校関係者評価書

(問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。

・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

P T A会長・P T A副会長3名・就労継続支援B型事業所サービス管理者

計5名

(意見欄)

○学び1 教育課程・学習支援

- ・教職員、保護者の評価が高く、適切であると思う。また改善策、向上策も適切であると思う。
- ・教職員評価、保護者満足度ともに高く、ニーズに応じた情報提供など、昨年度から改善された点もあり、指導計画の作成や評価の取組が着実に進められていることがうかがえる。実態把握の不十分さを理由とするC評価については、改善策にも示された通り、関係者間の連携強化や随時の見直しを行われるとよいと感じた。
- ・担任から説明を受けたかもしれないが、「学びの地図」についてよく分からない。
- ・目標値以上の結果のため問題ないと思う。
- ・常に学部内で情報共有を行ってくださり、大変助かっている。成果・改善ともに適切だと思う。

○学び2 研究・研修

- ・成果、課題ともに適切であると思う。日々の連絡帳や懇談で様子が分かるので助かっている。改善策、向上策も適切であると思う。
- ・研究活動の継続的な取組により、授業作りについての話し合いを行ったり、児童生徒が主体的に考え発信する授業が推進されたりしている点は高く評価できる。今後も学部ごとの特性を生かした研究を充実させ、さらに成果の可視化・共有化を期待したい。
- ・満足されていない保護者が一人いますが、個人として対応できることなので、全体としては目標値以上で問題ないと思う。
- ・成果・課題ともに適切だと思う。

○学び3 情報管理

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また、改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・情報セキュリティ遵守指数が高水準であることは、教職員が意識向上されているのだと感じた。ICT活用については活用し、よいとされる意欲は高いが、使いこなすのに不安があるようなので仕組みを分かりやすく整備し、誰もが活用しやすい環境づくりを進めてほしい。
- ・特に問題ない。
- ・生徒の授業を見せてもらったが、考える時間も取れていてよかったと思う。
- ・一人の方が満足されていないが、情報が漏れているのは学校側からだけではなく、生徒側からも情報が漏れる可能性も否定できないので、教職員だけでなく生徒への指導も重要になってきていると感じる。
- ・ICTの操作が難しい生徒に対しては、ICTを使用することが目的ではないので、本来の目的を達成できるのであれば、無理に使用する必要性は感じない。
- ・昨今、セキュリティは大変厳しくなっており大変だと思うが、外部の方にも（端末の操作方法など）説明会など行っていただくとより良い改善ができるのではないかと考える。

○学び4 寄宿舍

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・生活スキル向上や保護者満足度が目標を達成しており、継続的な支援の成果が感じられる。家庭での定着に課題があるとの意見を踏まえ、具体的で実践しやすい支援方法の共有を進めながら、学校・寄宿舍・家庭の三者が同じ方向性で支援できる体制の強化を期待したい。
- ・特に問題ない。

- ・家では甘えてしまうため、定着はなかなか難しいと感じる。家とは違う環境で、自分のやるべきことを学べる良い機会だと思う。
- ・二人の方があまり感じられていないと評価されていますが、目標値以上の結果であり、適切な改善・向上策が記されているため問題ないと思う。
- ・成果、改善ともに適切だと思う。

○安心・安全な生活5 児童生徒支援

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・学校行事や日常の連携体制について高い評価が得られており、生徒の意欲や安心感につながっていることが分かる。学部を超えた情報共有や複数の視点での支援体制づくりは重要だと思うので、今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ・家でだけかもしれないが、発表会の練習等を宿題のようなかたちですることが必要なのか検討してほしい。本番前に不安になっている時もあった。
- ・一人の方があまり感じられていないと評価されていますが、目標値以上の結果であり、適切な改善・向上策が記されているため問題ないと思う。
- ・成果、改善ともに適切だと思う。

○安心・安全な生活6 保健・安全管理

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・感染症の時期は学校で何が流行しているかを週ごとのメール発信などでもう少し情報がいただけると助かる。
- ・感染症対策や危機管理体制について、マスク着用など保護者の不安の声にも真摯に向き合い、情報発信を継続してほしい。また、訓練以外の日常生活の中で安全意識を育てる取組を検討されると、いざという時に役に立つのではないかと感じた。
- ・（意見にもあったように）確かに子どもに聞いてもわからない時があった。緊急で対応が必要な時は連絡帳やメールなどで情報発信していただけるとありがたい。
- ・二人の方があまり感じられていないと評価されていますが、目標値以上の結果であり、適切な改善・向上策が記されているため問題ないと思う。
- ・マスクに関しては着用が難しいお子さんもいらっしゃると思うが、感染者が出た場合や冬季のバスなど喚起対策で窓を少し開けるなどできたら良いのではと思う。

○家庭や地域社会とのつながり7 進路支援

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・卒業後を見据えた支援や情報提供において高い満足度が得られていると感じた、早い段階で進路選択に向けて取り組むことで、選択肢が広がる可能性があることを共有できると良いと思われる。また、教職員も施設訪問を行うことで、進路理解を深める有効な方法と考える。
- ・特に問題なし。
- ・企業の方とも話を進めていただき、必要な課題を見つけることができたと思う。
- ・幾人かの保護者が満足できなかったようですが、適切な改善・向上策が記されているため問題ないと思う。
- ・研修や施設訪問も毎年開催されているので、参加しやすい日程を設定するなどの工夫が必要かもしれない。
- ・成果、改善ともに適切だと思います。

○家庭や地域社会とのつながり8 PTA・交流

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・活動内容の丁寧な発信が理解促進につながっており、交流活動やPTA活動において、学校と家庭や地域との良好な関係が築かれていると感じた。今後も参加しやすい行事や活動を継続し、保護者の負担を軽減できる工夫を進めていくと良いと思う。
- ・PTA活動をさせてもらったが、あまり負荷もかからず、先生方の支援もいただき務めることが

できた。行事が多すぎても大変なので、ちょうどよいと思う。

- ・二人の保護者があまりわからなかったと評価しているが、目標値以上の結果であり、適切な改善、向上策が記されているため問題ないと思う。
- ・個人的な意見ですが、今年度は一度も参加されていなかった役員がおられた。仕事などがあり大変だとは思いますが、参加不可能なことが前もって分かる場合は保護者の方がお断りしやすいように辞退届など一緒に配布してはどうか。一度も参加せず、その後の役員免除は疑問に思う。

○家庭や地域社会とのつながり 9 教育相談

- ・成果、課題ともに適切であると思う。また改善策、向上策ともに適切であると思う。
- ・巡回相談満足度が高く、一人一人の困り感に寄り添った専門的な情報を提供されていることが素晴らしいと感じた。今後は巡回相談の役割についての理解をさらに深める広報活動が行われると良いと感じた。
- ・特に問題ない。
- ・目標値以上の結果のため問題ないと思う。
- ・成果、改善ともに適切だと思う。

○全体を通して

- ・保護者、教職員ともに高評価でよかったと思う。引き続き、学校と保護者と連携を密に取り、共通理解のもと子どもの支援をよろしく願いたい。
- ・全体として、各項目で目標指数を達成しており、教育活動が計画的かつ組織的に推進されていることがうかがえる。特に、課題を具体的に分析し、改善策を明確に示している点は適切であると感じた。今後はB評価にとどまっている項目をどのようにA評価に引き上げていくか、具体的な数値目標や実践例の共有を通してさらなる質の向上を図られることを期待する。
- ・すべての項目に対して目標値を達成しているにもかかわらず、少数意見に対してもしっかりと改善策、向上策を考えられていると感じた。
- ・日頃からいろいろ相談にのってもらい感謝している。いろいろな生徒さんがおられると思うが一人一人との対話を通して成長できる環境づくりに今後も努めてもらえると幸いである。

(学校関係者評価を踏まえた今後の取組について)

●学び1 教育課程・学習支援について

引き続き本校独自の「学びの地図」を十分に活用しながら学習への取組状況について把握し、教職員間での情報共有、指導支援に反映していく。また、評価については教職員間の連携や情報共有をより密に行った上で、児童生徒の実態を把握し行っていく。

●学び2 研究・研修について

各学部で行っている学部研究会をさらに充実させ、児童生徒が自ら考え発信する授業づくり、活動づくりに取り組んでいく。また、様々な機会や方法を利用しながら、学校での取組や成果について保護者や地域に向けて発信していく。

●学び3 情報管理について

引き続き定期的に情報機器の活用についての研修を行うことで教職員のスキルアップを目指していきたい。情報セキュリティについては教職員の意識をさらに高めると同時に、児童生徒の発達段階に合わせた情報モラル教育の充実に努め、保護者にも共有できるようにする。

●学び4 寄宿舍について

各学部や家庭との情報交換を密にしながら、引き続き児童生徒の生活スキルの向上に向けて支援を続けていく。また寄宿舍で身に付けた力の定着を目指し、家庭においても実践しやすい具体的な支援方法について検討し、保護者とも共有していく。

●安心・安全な生活5 児童生徒支援について

今年度の反省を生かし、児童生徒がやりがいや楽しみを持ちながら参加できるよう、児童生徒の実態に即した学校行事の計画や運営を行う。引き続き連携しながら日々の支援を行い、学部だけでなく学校全体で対応できるような支援体制を整備していく。

●安心・安全な生活6 保健・安全管理について

引き続き必要な感染症対策に取り組み、感染予防に努めていく。感染症の流行状況に関する情報提供については不十分なところもあったため、情報発信の時期や方法について検討し改善する。危機管理について、児童生徒に対しては計画的に避難訓練を実施することで安全に対する意識を高め、教職員に対しては最新の知見を取り入れた研修を通して危機管理意識を高め、日々の支援にあたる。

●家庭や地域社会とのつながり7 進路支援について

様々な機会や媒体を通して進路にかかわる情報提供を引き続き行っていく。さらに本校独自の「今から取り組んでほしいことや身に付けてほしい力」の周知に努め、各発達段階に応じた実践例や活用例を提供していく。教職員の進路への理解をより深めるために、保護者対象の研修にも教職員が参加できるように検討を行う。

●家庭や地域社会とのつながり8 PTA・交流について

引き続き保護者や全教職員に対してPTA行事等にかかわる情報を伝え、それぞれが関心をもって参加できるように努める。また、行事・活動後は速やかに情報を発信し、理解啓発に努める。

●家庭や地域社会とのつながり9 教育相談について

関係する教職員間で、様々な関係機関や外部専門家、校内での支援会議などで得られた情報を共有できるよう、記録や発信、情報共有の方法について整理する。巡回相談においては、相談先の方々の困り感に寄り添いながら、引き続き支援を継続していく。

●全体を通して

外部評価者の皆様からはそれぞれのお立場から様々な視点でご意見をいただき、今年度の取組を振り返る上で大変参考になった。昨年度の学校関係者評価を受け、今年度は「情報共有」の方法についての改善をそれぞれの部署で取り組み、一定の成果を上げることができた。引き続き「情報提供」や「情報発信」の方法についてもさらに検討していきたい。今回評価いただいた内容をもとに令和8年度の具体的取組について考え、よりよい学校運営に繋げていきたい。